

第2章 上位関連計画の整理

ここでは、上位関連計画として、「新潟市都市計画基本方針」、「にいがた都市交通戦略プラン（基本計画）」、「新潟市立地適正化計画」について整理します。

1. 新潟市都市計画基本方針

- 本市の今後の都市づくりの方向性を示している新潟市都市計画基本方針では「市街地と田園・自然の多様な魅力が人をつなぐ多核連携都市 新潟」を目指す都市の姿としています。
- 2022（令和4）年12月に改訂され、2032（令和14）年度を目標年次とした計画です。

■目指す都市の姿

- 新潟市が目指す都市の姿を「市街地と田園・自然の多様な魅力が人をつなぐ多核連携都市 新潟」とします。
- 目指す都市の姿の構造（多核連携都市）の実現に向けた考え方を次の3つの要素で示されています。
 - (1) 市街地と田園・自然の共生・共鳴
 - (2) 都市・地域の拠点の機能強化
 - (3) 拠点間の連携強化



図 都市構造のイメージ

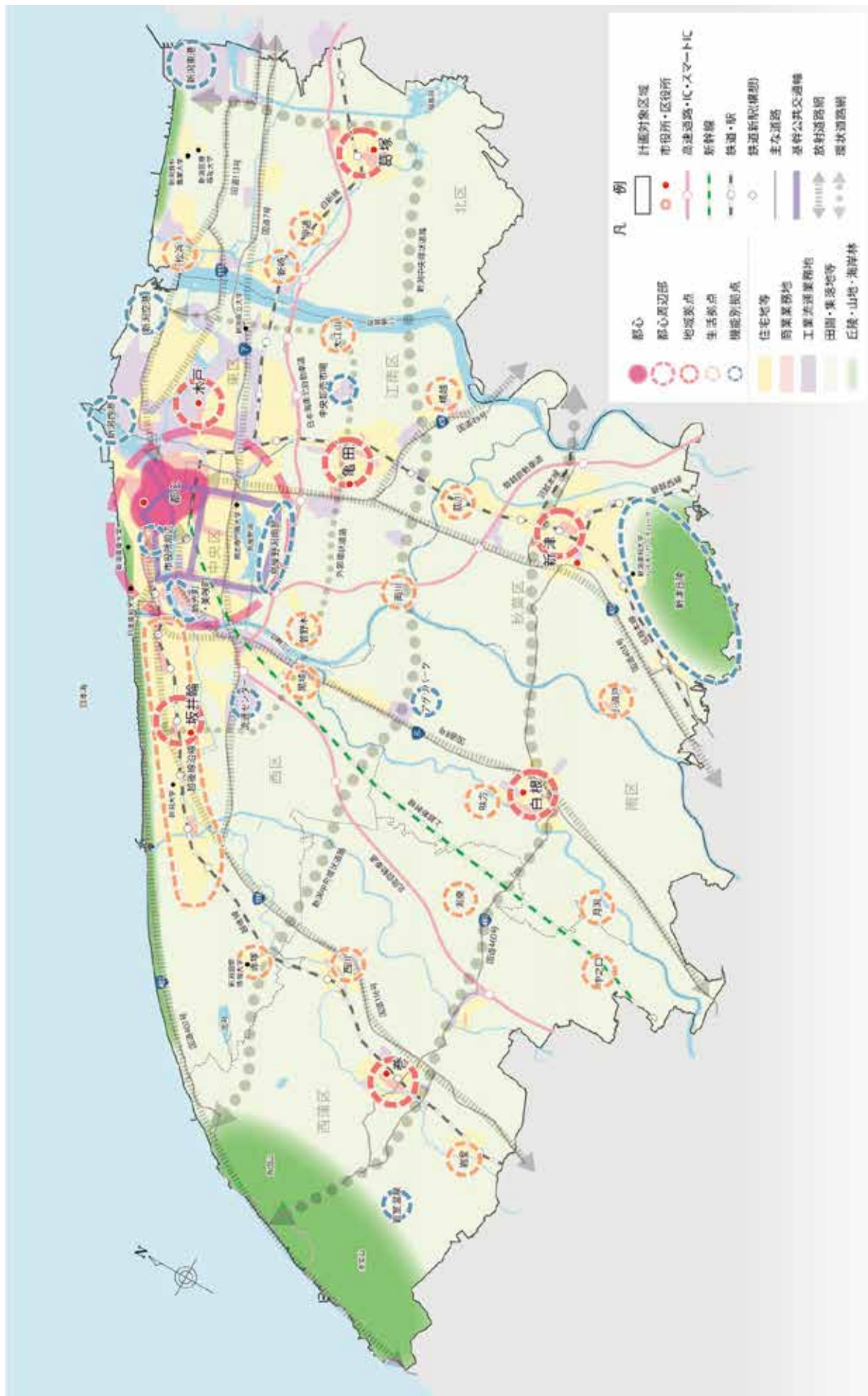


図 基本的な方針の市全体図 (2022.12 時点)

2. にいがた都市交通戦略プラン〔基本計画〕

- 本市の交通政策の基本的な方針を定めているにいがた都市交通戦略プランでは「県都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち」を交通の将来像に掲げ、2つの目標、5つの基本方針を定めています。

■将来像と目標

交通の将来像：県都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち

目標1：県都新潟の拠点化を支える交通【拠点化の視点】

目標2：安心して暮らせることで選ばれるまちを支える交通【市民生活の視点】

■将来像を実現するための基本方針

基本方針1：多核連携型のまちづくりを支える交通戦略

基本方針2：都市の活力と拠点性を強化する交通戦略

基本方針3：まちなかの賑わいを創出する交通戦略

基本方針4：暮らしを支えるモビリティを地域で育む交通戦略

基本方針5：みんなで築き上げる交通戦略

にいがた都市交通戦略プラン 5つの基本方針～10年後の目指す姿～

交通の将来像ー
県都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち

【目標1】
 県都新潟の拠点化を支える交通
 「全国とつながる」「世界とつながる」拠点都市・新潟

【目標2】
安心して暮らせるまちを支える交通
 住みよいまち新潟・暮らしたいまち新潟

1. 都心アクセスの強化
 ～多核連携型のまちづくりを支える交通戦略～
 コンパクト・クラス・ネットワークを基本とした公共交通

【取り組みの方向性】
 望ましい土地の利用と放射環状型の道路網をつくり上げるとともに、鉄道・バス・タクシー・自転車間の役割分担を図り船齢を強化することで、多核連携型のまちづくりを推進します。

2. 広域交通との連携強化
 ～都市の活力と拠点を強化する交通戦略～
 駅・港・空港など広域交通拠点と基幹公共交通の効果的な連携

【取り組みの方向性】
 駅・港・空港など広域交通拠点をバスやタクシーでよりスムーズに連携させることにも、基幹公共交通軸との船齢を強化させることで、交流人口の拡大を図ります。

3. 都心部での移動円滑化
 ～まちなかの賑わいを創出する交通戦略～
 まちなかの活性化に向けた回遊性向上



【取り組みの方向性】
 新幹線や空港にアクセスしやすいから、出張帰りの空き時間に見学しよう！
 東外出張者

いろいろな乗りもので魅力的なまちをまわってワクワクがとまらないよ！
 郊外から都心への公共交通利用者

4. 生活交通の確保維持・強化
 ～暮らしを支えるモビリティ地域で育児交通戦略～
 暮らしやすい移動環境の確保

【取り組みの方向性】
 地域のまちなかでは、徒歩や自転車や自転車で安心して移動できる空間をつくり上げるとともに、公共交通の改善に取り組み、まちづくりと連携した公共交通ネットワークを強化します。

駅まで車で行って電車で乗り換えて行こう！
 自家用車利用者

【取り組みの方向性】
 多様な交通手段から選んで回避できるよになった！

送ってもらわなくても大丈夫！
 幼稚園・保育園児

免許証を返納しても安心して暮らせるわ！
 免許証返納者

5. 市民地関係者による協働
 ～みんなが築き上げる交通戦略～
 市民にとって使いやすいと書かれる公共交通に改善

【取り組みの方向性】
 引き続き、適度な自家用車利用から公共交通利用へ促進する取り組みを進めるとともに、バリアフリー化や新技術の導入などをみんなできり組み、誰もが使いやすいと書かれる公共交通へ改善を進めます。

みんなが協力して使いやすい公共交通にしよう！
 市民所職員

【取り組みの方向性】
 みんなで書いてくれる公共交通になった！

区バス・住民バスが充実しているから住みやすいわ！
 高齢者

みんなが協力して使いやすい公共交通にしよう！
 地域住民

【凡例】
 赤線：基幹公共交通
 緑線：居住を奨励するエリア
 青線：公共交通の利便性の高いまちなか居住エリア
 緑矢印：放射軸
 黄矢印：環状軸
 赤矢印：連携軸
 赤丸：都心部
 黄丸：拠点拠点
 青丸：生活交通の確保維持・強化

図 将来像と目標

3. 新潟市立地適正化計画

- 本市の都市構造は、高次機能が集積した都心、それを補完する都心周辺部、それらと公共交通ネットワークや道路網でつながっている地域拠点で構成されています。
- また、本市は隣接市町村と広域的な連携を進める「新潟広域都市圏」を形成することにしており、都心や都心周辺部、地域拠点と近隣市町村とのネットワークの構築も重要となります。
- 本計画では、立地適正化に取り組むという観点から改めてこの配置を明示するとともに、それぞれの拠点が担うべき機能について再整理しています。

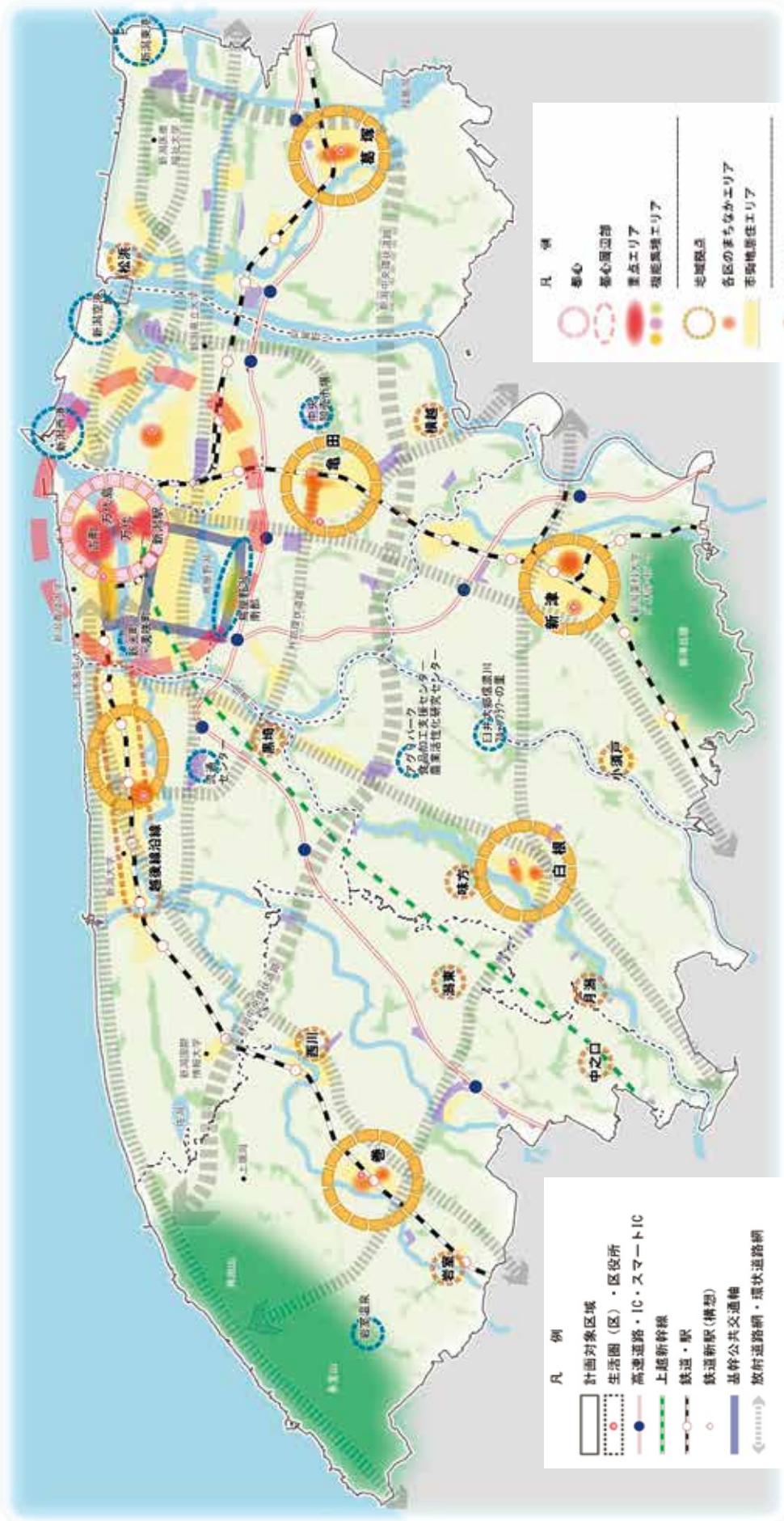


図 都市の骨格構造

■都心及び都心周辺部が担う機能

- ・ 中枢的な業務・商業機能が集積する都市の象徴的な市街地
- ・ 様々な魅力・交流から新たな情報や文化が創造・発信される拠点
- ・ 高次都市機能が集積した「都市の顔」に例えられる中心的なまちなか



図 都心周辺部のイメージ

■各区の地域拠点が担う機能

- ・ それぞれの地域で育まれてきた歴史や個性を持ち、中心を担ってきた要衝
- ・ 古くから地域の拠点としての市や商店街などが存在してきた地域の核
- ・ 各区（生活圏）の中心であり、まちなかを形成する市街地
- ・ 日常生活での人の出会いや顔が見える場としての身近な交流拠点



図 地域拠点周辺のイメージ

◆新潟市立地適正化計画と新潟市地域公共交通計画の連携

➤ 新潟市立地適正化計画において、本市のまちなか居住を象徴するエリアとして「公共交通の利便性の高いまちなか居住エリア」が設定されており、本計画においては、「公共交通の利便性の高いまちなか居住エリア」と連携した公共交通の取り組みを推進します。

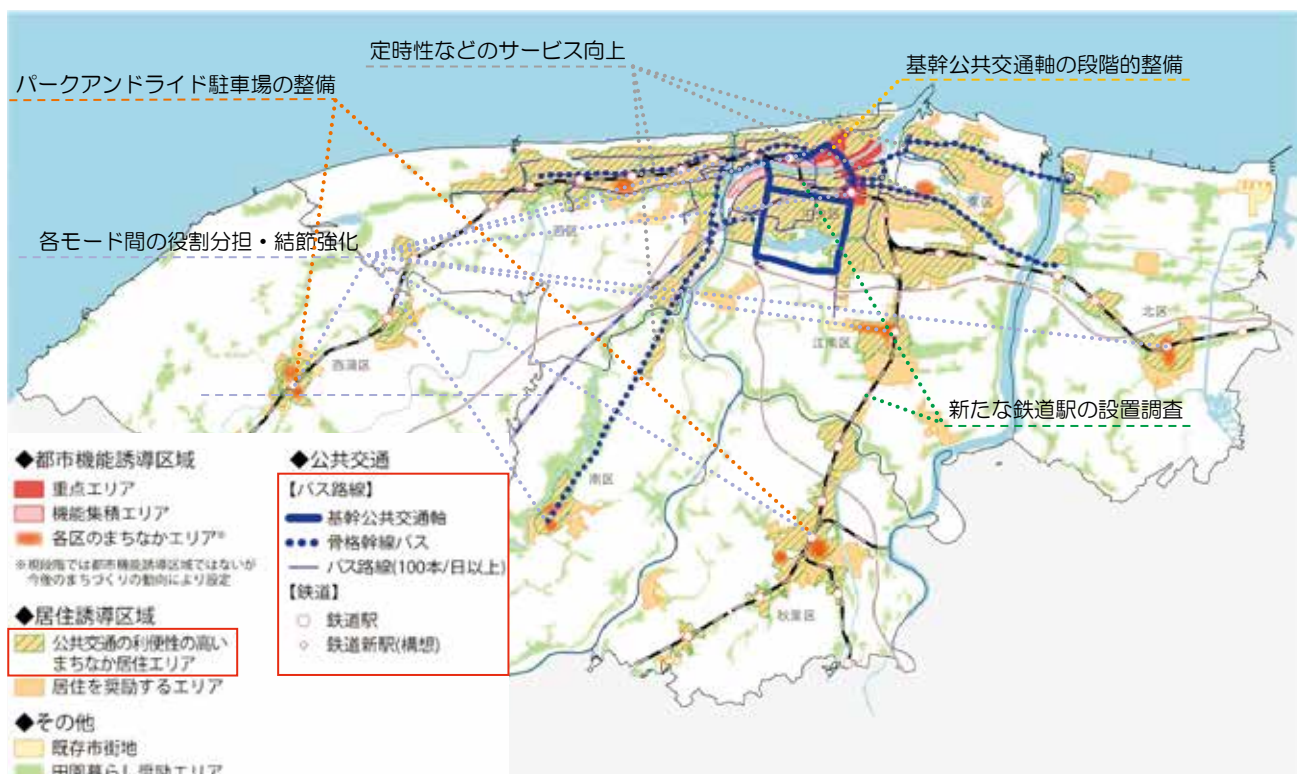
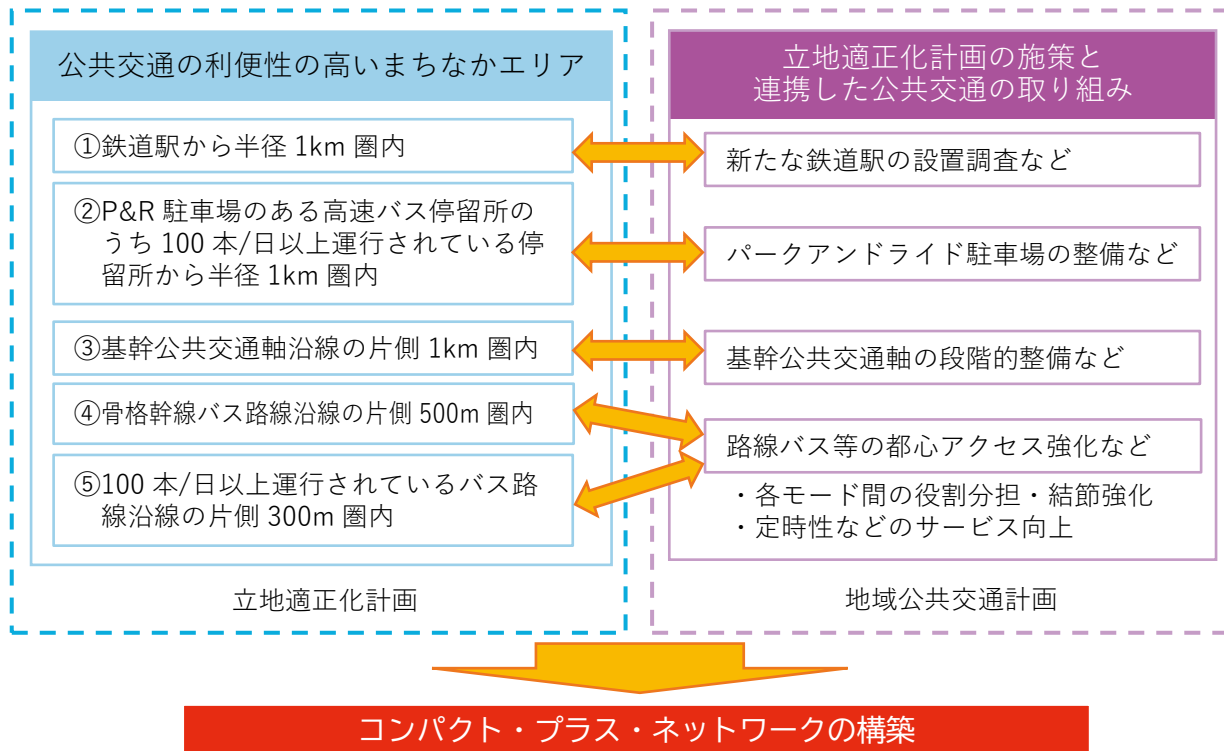


図 新潟市立地適正化計画と新潟市地域公共交通計画の連携